

単元名 単位量あたりの大きさ

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 単位量あたりの考えを使った比べ方や表し方を理解し、異種の2つの量の大小を比べることができる。
 (2) 異種の2つの量の割合で表される量について、単位量あたりで考えることができる。
 (3) 単位量あたりの考えのよさが分かり、これを用いて関連する2つの量の大小を比べようとする

標準的な展開例

05040207_001

【準備等】電卓

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 単元の学習課題をつかみ、混み具合の比べ方を考える。[p. 158～p. 160]</p> <p>○ 4つの部屋の人数と畳の数を知り、混み具合について考える。</p> <p>○ 単元の学習課題をつかむ。 ★こみぐあいのくらべ方など、もののくらべ方について考えていこう。</p> <p>○ 混み具合を比べる。</p> <p>○ 「練習問題」に取り組む。</p> <p>2 単位量あたりの考えで、2つの観点から量の大きさを比べる。[p. 161]</p> <p>○ 本時の学習課題をつかむ。 ★写真1まいあたりのねだんをくらべよう。</p> <p>○ 写真の枚数とかかる料金を、1枚あたりで比べる。</p> <p>○ 「練習問題」に取り組む。</p> <p>3 単位量あたりの大きさを使って、問題を解決する。[p. 162]</p> <p>○ 本時の学習課題をつかむ。 ★単位量あたりの大きさを使って、くらべよう。</p> <p>○ 人口密度の問題に取り組む、人口密度の意味を知る。</p> <p>○ 「練習問題」に取り組む。</p> <p>○ 身の回りから、単位量あたりの大きさが使われているものを見付ける。</p> <p>4 単元を振り返り、確認問題に取り組む。[p. 163]</p> <p>○ 「たしかめよう」に取り組む。</p> <p>○ 単元の振り返りを書く。</p>	<p>・ 単位量あたりの考え方を生活の中で用いている児童もいるが、漠然と用いている場合が多い。ここでは、異種の2つの量を比べることによって、単位量あたりの考え方を意識させる。</p> <p>・ 人数か畳の数のどちらかがそろっていれば、簡単に比べられることを確認する。 【評】混み具合を考える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・ 考えたことを話し合わせる。 【評】混み具合を比べる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・ 公倍数あたりの考え方を扱い、100枚あたりで比べる児童がいた場合には、公倍数あたりのよさを考えさせてもよい。</p> <p>・ $750 \div 25$の立式ができない場合は、「3枚プリントして24円かかる店があります。」1枚では、何円がかかりますか。」と簡単な場合で考えさせる。</p> <p>・ 単位量あたりの大きさの意味を知らせ、それで比べるよさに気付かせる。 【評】2観点で量の大きさを比べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ 電卓を用意するとよい。</p> <p>・ 広い地域の混み具合を比べる時には人口密度が使われることを知らせる。 【評】単位量あたりの考えを使って日常の事象を比べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】身の回りから、単位量あたりが使われているものを探す活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・ 個別指導を通して、単元の学習内容の定着を図る。</p> <p>・ 自己評価をし、不十分なところは教科書で振り返らせる。 【評】問題に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ 単位量あたりの大きさについて、分かったことやできるようになったこと、もっとやってみたいことなどを書かせる。</p>

【備 考】

本単元では、単位量あたりの意味とその計算方法について学習する。単位量あたりという言葉自体も難しいが、単位量あたりのよさに気付かせることが大切である。様々な問題の解決を通して単位量あたりの考え方ができるよう、単元構成や授業展開を工夫する必要がある。